

第5回議会報告会

第二部 議員との懇談

質疑・意見一覧

○ 総務委員会への質疑、回答

問 美土里町、和泉町、箭弓町の指定避難所は、松山女子高校と聞いているが、体育館の広さを考えると疑問である。自身の住む美土里町では自治会館に避難するという話もあり、市民としては良くわからないところだが、どうなっているのか。

答 市指定の避難所とまぎらわしい状況にあるが、美土里町の自治会館は地域の自主防災会が決めた集合場所である。災害時は、地域の自治会の集合場所に集まり、その後、一時避難所に移動するという流れとなる。

一時避難所には、市の職員が参集することになっている。

災害の対応については、地形としての河川の有無や、公共施設が近くにあるかどうかなど地域性がある。現在市内での自主防災組織の組織率は98%となっており、地域の備えは進められているが、短時間豪雨など、予測が難しい気象状況が顕著となっていることを踏まえ、実際にどのような避難が安全なのか、地域ごとに把握しておく必要があると思う。

行政は地域の皆さんとともに、危機管理のシミュレーションを行い、情報を共有すべきと指摘していきたい。

問 過去に大雪の被害があった際、道の除雪について市に問い合わせたところ順番に行うとの回答であった。市民としては、いつ対応できるかという情報が大事でありシミュレーションを進めておいて欲しい。

美土里町は井戸が少ない地域であり、個人で備えるべき物資についてなど、行政だけではなく町内会も含めて協議すべき時期と考えるがどうか。

答 同じ考えである。例えばみどり保育園からは、建物は耐震設計であり、井戸もあるので、災害時には避難してきても良いとの善意の意見もある。このような住民の互助に対する意見を集約し避難場所を増やしていく努力も必要と考えている。シミュレーションが不十分であることなど、住民の意見を交えて、改善策を検討していきたい。福岡県朝倉市の災害現場を視察し、その後の取組についても勉強してきたので、市に還元していきたい。

問 高坂丘陵地域の防災会に携わっているが、災害時の市民活動センター職員の役割はどのようなものか、地域に貢献できるような訓練はされているのか。

答 地区センターの職員は、災害時に災害対策本部（市庁舎）と連絡をとりな

がら、現地災害対策本部等を運営する仕組みとなっており、緊急時に何分で参集できるかという訓練も受けている。

地区センターは耐震性、水の確保、収容スペースが整っているのは間違いなく、早めに避難してもらうことは重要と考えている。

しかし、福岡県朝倉市では、職員自身が被災者となり参集したくてもできないという事例や、災害により地域が孤立し職員が近づけない状況下で、避難所に濁流が迫り、住民の自主的な判断で近隣の小学校に移動して助かった事例があった。

市の対応には限界があることを理解し、住民自身でも地域性を考慮した対応を検討しておく必要があるのではないかと考えている。

問 福岡県朝倉市において、災害時の地区の防災組織の活動はどうであったか。

答 福岡県朝倉市は、山間部と筑後川にはさまれた地形にあり、市域は土砂災害警戒区域と浸水想定区域にほとんどが含まれている。そのような状況を踏まえ、朝倉市職員に、地域ごとの訓練状況を質問したところ、訓練は十分に行われていたが、それでも逃げ遅れて亡くなった方がいるとのことであった。

○ 総務委員会への意見、要望

意見 現在、自治会の自主防災会の訓練に、地区センター職員が参加するということは行われていないが、地区センターと自治会防災会との壁を無くし、災害時に円滑な対応をする上では、非常に大事なことと考えている。議員はこの問題を認識してもらいたい。

意見 ハザードマップが正しいのであれば、自主防災のための装備品は地域ごとに違うはずであるが、市は同じものを勧めている。装備品については、共通のもの以外に、地域性を踏まえた品目を勧めるべきで、その装備品を使う前提で訓練をすることが、自主防災組織を有効に機能させる方法ではないか。

意見 阪神淡路大震災では、昭和56年以前の（旧）耐震基準によって建築された家屋が倒れ、通電後に火災が発生した。古い建物は火災が起きる可能性が高いことを、住民は意識する必要がある。また、実際の防災活動は、高齢の婦人が中心となる可能性があり、そのための訓練が必要ではないか。

意見 現実問題として、東松山市の自主防災組織は防災倉庫を整備し、機材を

揃えただけで終わっており、災害について勉強し訓練を行っているところは少ない。災害時に要援護者の支援にあたるのは、最終的には地域の自主防災会である。これらの仕組みについては、毎年行われる市の防災リーダー研修会で周知されているはずであるが十分とは思えない、ぜひ点検をしてほしい。

高坂丘陵地区は水害よりも地震の被害が想定される地域性がある。地震はいつくるかわからない。

意見 防災の視察報告については、実際に現地を見て東松山市の問題点が確認できたから、このように生かしましたという説明が良いのではないか。

議員は仕事として必要な案件を見に行ったわけだから、市民に誤解の無いように報告した方が良い。

○ 厚生文教委員会への質疑、回答

問 大滝議員は 2 月の議会だよりで高田博厚の記念館を建てるという提案をしていたが、どのような構想を持っているのか。

答 大げさなものではなく、できれば空き店舗や図書館の 2 階などに高田博厚さん自身の背景や、ほかの作品も参考にできるような場所を設置したほうがいいのではないかとこの気持ちで提案した。高田博厚氏の彫刻が 32 体も路上にあるのは貴重な芸術品だと思うので、彫刻がただあるというだけでなくその背景も知ってもらうために、資料館、美術館というような大げさなものではなくて、空き家、空き店舗の利用や図書館の 2 階などを利用してみなさんに知っていただいたらいいのではないかとこの気持ちで提案した。

問 記念館を建てるようだと箱もの行政だと思ったが違うようだ。作品を寄贈されたそうだが、それは無料だったのか。市はお金を出したのか。

答 鎌倉にあるアトリエの作品などを無料で贈呈されたようだ。

問 高田博厚氏は立派な人かもしれないが、東松山市との関連性は田口元教育長の個人的な関係だけで、東松山で生まれたとか、居住していたというわけではないので薄いのではないのか。

答 それはその通り。田口さんとの縁があって、高坂に 32 体の彫刻があって縁深くなったということだと思う。

問 それを少し発展させるということか。

答 そう。大げさに美術館を建てるということではなくて、みなさんに知ってもらうようなことを考えた。

問 東松山市は 21 人の議員定数であるが、入間市は人口 25 万人で定数 22 人である。議員一人当たりの住民の数は入間市 6800 人、当市 4200 人。現在の当市の議員定数は多いと思うか少ないと思うか議員一人ずつにうかがいたい。

答 米山：21 人になる前に色々経過があり検討をしてきた。委員会が 3 つあるのが普通なので奇数がいいだろうとなった。

問 時間がないので「良い」か「悪い」かで答えてもらいたい。

答 米山：今のままでいいと思う。

大滝：今のままでいいと思う。

浜田：今のままでいいと思う。

中島：今すぐではないが、将来的に人口減少が進めば検討が必要と考える。

井上：今のままでいいと思う。

高田：現状では今のままでいいと思うが、将来は考える必要がある。

大内：いま 21 人いるが 19 人ぐらいにしていいと思う。15 人位でもいいように思う。

問 なぜこんなことを聞いたかという、何回か本会議を傍聴したが、会議中に寝ているのか、目をつぶってじっくり聞いているのかわからないが、首をかしげざるを得ない議員を見かけた。議長が注意をすべきではないか。また、議長側からのカメラをつけることを要望する。

答 大内：前半の首をかしげざるを得ない議員によく該当するものと自分で思うので以後気を付ける。また、カメラの件は議長が同じ会派なので「議会にはかる」までは要望を伝える。

問 リフレッシュチケットとはどういうものなのか。

答 在宅で満 1 歳～2 歳の子育て中で、仕事に従事していない主にお母さんに、市が配布している 10 枚つづりのチケットである。例えば、子育て支援センターソレを使いたい時に使用料（市内在住者 100 円、市外在住者 200 円）をリフレッシュチケット 1 枚で払うとか、病院に行かなくてはならない時などに、リフレッシュチケットを使って一時保育に 2 時間あるいは 3 時間預かってもらうなどの使い方をしているようだ。

問 国民健康保険税について、4 方式から 2 方式に変わるようだが、今後保険税は上がるのか下がるのか。

答 国保税については自治体によっても、個人個人でも違う現状がある。確認していく。

問 ①桜山小と白山中の小中一貫教育の効果の見極め期間はいつまでなのか。②今後、市内全域に小中一貫教育を展開していくのか。

答 小中一貫教育は、桜山小、白山中の児童生徒が減少したため 1 クラスしかなく、何とか生徒を増やそうと考えたのが始まりである。特認校制度と共に一貫教育という特色を出した。桜山小、白山中を閉校にしないでせめて 2 クラスにしようと実施された。校区も変更し軌道に乗ってきた。教育委員会は何年度と区切ってはいないが、高坂小校区からも児童が来ているので、6 年間は様子を見るのではないか。生徒が少ないから他の校区にはない特色を出すということで英語教育に力を入れることにした。この英語教育を全市的に実施することを教育委員会はまだ検討していないと思う。ただ、成果が出れば、全市的に進めるよう提案したいと思う。

問 新しいことを実施するにあたり、成果の有無を見るのに行政としては通

常どのくらいの期間を見込むのか。

答 行政からは発表がないのでわからないが、試験的にやっていると聞いている。私見ではここ6年間で見極めるのではないかと考えている。校区変更1年目なのでまだ成果は分からない。一貫教育は難しいし、連携教育がやっと進んできたところ。モデルを作るのに6年はかかるのではないか。

○ 厚生文教委員会への意見、要望

要望 難聴者に対する善意での共助には限界がある。公助を制度化して欲しい。

- ①要約筆記を制度化して欲しい。(さいたま市、草加市は制度化している) 要約筆記ができる人を養成して必要時に派遣できるようにしてほしい。
- ②磁気テープや器械を研究し予算化して欲しい。

要望 南中への通学路となっている旧田園食堂のある交差点が危険な状態にある。自転車通学生が信号待ちの際、以前は食堂の敷地内に入って待つことが可能であったが、4月に食堂の経営者が変わり、敷地内に入れないようロープが張られた。そのため歩道に1列に並んで待つことになるが、傾斜がついており、自転車から地面に足がつかない生徒もいるため、車道側に倒れてしまう可能性がある。通学路の安全の為に警察と市民課、教育委員会など関係部署と連携して改善を図って欲しい。

要望 配布資料に委員長の説明内容を記載しておいてほしかった。メモが取り切れなかった。記載されていれば市政の事がもっとよくわかったと思う。

要望 議会終了後の報告会というのだから、議会中に厚生文教委員会で議論されたことや出されたこともリアルタイムで入れてほしかった。

要望 病児保育に対する支援が重要だと思う。共働き世帯が増えているので、子どもが突発的な発熱や病気の時に、出勤前、朝7時ころからでも見てくれるところを作って欲しい。

不動産屋によれば、今、若い夫婦世帯に滑川町が人気である。理由は給食費が無料だからだと聞いた。東松山市も若い世代の定住人口を増やすためには魅力ある市にする必要がある。企業誘致で固定資産税等の純増6億円とも聞いた。その一部でも使って給食費の無料化などできるのではないか。

梶田基金に市から 1000 万円持ち出していると言っていたが、何に使っているのか疑問でもある。科学未来館に行くこと、梶田先生に関するマンガなどで梶田先生のようになりたいと思う児童はいないのではないか。梶田先生のような人材を育てようとするならば、「東松山の自然とのびのびとした教育環境で育ったことが自由な発想、研究の基盤につながった。」と梶田先生が言っていたように、当市が魅力ある街になるような施策を考え、病児保育や給食費の無料化など市民が求めることを進めてほしい。

要望 行政に個々の意見を言える場がなくなった。昔は「市長への手紙」や「よろしく FAX」などで個人の意見を聞いてもらえた。常時個人の意見を聞いてもらえる場を作って欲しい。それらの意見は議員たちにも役に立つのではないか。

要望 市立図書館に食事コーナーを設置して欲しい。マナーを守らせれば特に受験生には便利になるのではないか。

○ 総務委員会への要望

要望 議員図書館を市民に開放して欲しい。

要望 手話の人をつけていたが、もっと市民に開催を広げれば障がい者の人も参加し、色々な立場の意見が聞けるのではないか。

○ 経済建設委員会への質疑、回答

問 駅前東通線整備事業は、多額の費用と時間が掛かりすぎる。

広い道路が必要か。

答 駅前東通線整備事業は平成 19 年度から計画された。少子高齢化の時代、全国的にコンパクトシティという事で、まちの中心に各種都市機能を集約させるとともに、交通網の整備が必要とされている。すでに丸広通り、駅南側道路が整備された。この事により駅への利用が多くなっている。

問 松高前通線の説明を受けたが、もっと早くから市民の声を聞いてもらいたかった。アンダーパスの歩道部分はどうなっているのか。

答 松高前通線は 30 数年前から計画があり実行に移っていたが中断となった。平成 30 年度から再度始まり、東武東上線の下をくぐるアンダーパスを設置することで、今後詳細設計を行う予定で進めている。

問 高齢者は歩行が困難で、駅近くにもっとお店を誘致出来ないか。

答 市は駅近くの土地を民間に売却した。

現在、民間業者がテナントビル・ホテル等を計画している。

問 自分は隣町との境界線近くに住んでいる。市と隣町との境界線上の道路・排水の管理はどうするのか。

答 担当課同士で話し合いを進めることを要望している。なかなか難しい点もあるが、議会としても今後要望していきたい。

○ 経済建設委員会への意見、要望

意見 東松山市の観光事業については、費用対効果の面からやらない方がよいのでは。スリーデーマーチ程度でよいのでは。

要望 「くらかけ清流の郷」にも問題がある。お金をかけないでやって欲しい。

意見 農地利用集積円滑化事業は川島町、吉見町、滑川町に遅れて実施された。実行が遅い。

意見 農業の 6 次産業化はナンセンスである。東松山市農業公社は名前だけである。

意見 市議会は市税の無駄遣いを追求して欲しい。

意見 生活道路の街灯は現在明るすぎる。大通りと生活道路で色を分けるなどという工夫も必要ではないか。

意見 東松山は娯楽が少ない。週末広場として娯楽（落語など）を行うような場所を作ってはどうか。

意見 まるひろ通りに若い人を誘導する取組を。また、街中にベンチを設置してベンチのあるまちとして売り出してはどうか。